

はじめに

北陸地方は、経済的に急速な発展が進む東アジアや豊富な資源を活用して今後の大きな発展が期待される北東アジア等に日本海を挟んで近接しています。今後、これらの地域は世界における交流拠点としての役割が期待されています。世界の中で、今後急速に発展していく地域と近接する地理的に優位性を活かし、日本海を通じた国際交流の増大による国際的なゲートウェイとしての役割が期待されています。

また、美しく豊かな自然に恵まれた北陸地方は、これらを観光資源として活用することにより、国内外から多くの人々を惹きつけています。その一方で、地震や冬の激しい波浪などによる生活の不安定さを持っており、生命・財産の保全が重要になるなど自然は厳しい一面も持っています。

このような状況の下、国際交流インフラである港湾・空港最大限活用しつつ、様々なニーズに対応した活力ある安全で住みよい北陸地方の地域づくりを支援するため、北陸地方整備局では、中長期的な展望を持って進めることが必要と考え、ここに一つの港湾空港ビジョンを提案いたします。

本ビジョンでは、北陸地方が、日本海を中心として東アジア・北東アジア諸国と向かい合っている地域であるということに主眼を置き、将来像をまとめました。

本ビジョンは、北陸地方の地域づくりの方向性として、三つの柱で構成しています。一つ目は、今後飛躍的な発展が期待される環日本海地域のヒト・モノの流れを活発化、効率化させることで、北陸地方の元気な経済社会の創出を図る「海と空を活かした元気な北陸の創出」です。二つ目の柱は、自然災害の防止・軽減、安定した交通手段の確保により、安心できる地域づくりを図る「安全・安心な北陸の海と暮らしの実現」です。三つ目は、豊かな自然や文化を継承し、それを地域の魅力として観光などに活用し、交流の促進を図る「豊かな海辺の自然との共生とみなとまち文化の継承」です。

北陸地域内にとどまらず多くの方々に本ビジョンをご覧になって頂き、将来の大きな発展の可能性を有するこの地域の将来像についての議論の契機となることを期待しております。

また、関連する多様な主体と連携を図りつつ将来像の実現に向けて我々も努力して参ります。

国土交通省 北陸地方整備局長 大村 哲夫

